

スポンサー様

TJSBA G-SHOCK JETSKI PRO TOUR Rd. 1

開催日

3/25・26

開催場所

タイ ノーンブワラムプー

参戦クラス

Pro Ski GP

Pro Ski 2-Stroke Stock

使用マシン

Pro Ski GP: Pro Watercraft Racing 製 Pro Force

Pro Ski 2-Stroke Stock: ヤマハ製 Super Jet

結果

Pro Ski GP

Moto#1:2 位

Moto#2:1 位

Moto#3:1 位

Moto#4:1 位

総合:**優勝**

Pro Ski 2-Stroke Stock

Moto#1:1 位

Moto#2:1 位

総合:**優勝**

長いオフシーズンが終わり、タイツアーの開幕を皮切りに私のレースシーズンがスタートしました。昨年、タイでのナショナルチャンピオンを獲得したことから今年はタイトルを防衛するために再度参戦し、尚且つ昨年より参戦するクラスを増やし 2 クラスでのタイトル獲得を狙います。また、今シーズンはタイでのマシンスポンサーが変わり、国民的ポップスターである JETRIN 氏に Pro Watercraft Racing 製の Pro Force とヤマハ製の Super Jet を用意して頂けることになりました。特に Pro Force を用いて今年はワールドファイナル及びキングスカップでの世界チャンピオンを狙っていくため、タイツアーにおいて Pro Force でシリーズを戦っていけることはマシンに乗り慣れることを含めてとても嬉しく感じております。

開幕戦のレース会場はタイの北東にある小さな湖で行われました。そのためコースレイアウトは配置されているブイの数に対してコースの面積が小さくとてもテクニカルなコースとなっていました。ただ、コーナリング性能の高い Pro Force にとってはむしろ都合の良いコース設計であり、コース上での追い抜くチャンスは十分にあると考えました。

Pro Ski GP

Moto#1 のスタートグリッドは抽選によりアウトコースのポールポジションでした。スタートではホールショットを獲得することができ、アウトコースの 1 位で合流へと向かいました。しかしインコースの 1 位艇に先行されてしまい、2 位で 2 周目を迎えることとなりました。それからは 1 位の選手を追いかける展開となりましたが、毎周チョイスコースを分かれ遠いアウトコースばかりを走ってしまい、あと 1 歩が届かぬ状況が続き 2 位のままゴールとなってしまいました。

Moto#2 のスタートグリッドはインコースの一番アウト側からでした。ホールショットが獲れずインコースの 2 位で合流へと向かい、ホームストレートも 2 位で通過することができました。Moto#1 での反省から、チョイスコースを分かれず 1 位の選手の背後を離れずに付いていき常にチャンスを伺う作戦で走りました。その結果レースの中盤ではバックストレートエンドで並びかけるほど詰め寄せたことからチョイスコースを分かれ、ホームストレートエンドでは半艇身ほど前に出ることができました。そして左の 3 点ブイのコーナーで外からアクセルを握って捲ることができ 1 位へと浮上することができました。その後は 2 位の選手との差を毎周広げていくことができ、1 位でゴールすることができました。

Moto#3 ではインコースのポールポジションでスタートしました。スタートでは外側にいた選手にトップスピードで敵わずインコースの 2 位で 1 ブイを曲がり、合流では 2 位のままホームストレートを通過しました。Moto#2 と同様の作戦で走行し 1 位の選手に生じる隙

を伺っていたところ、レース中盤で右海面でのコーナーセクションをぴったりと離れずに付いていけ、旋回で大きく膨らんだ隙を突き抜き去ることができました。そしてそのままトップフィニッシュをすることが出来ました。

最後の Moto#4 もインコースのポールポジションからスタートしました。今回もホールショットは取れずインコースの 2 位で合流へと向かいました。アウトコースのホールショット艇に先行され 3 位で 2 周目を迎えるも、ホームストレートエンドの 3 点ブイでは 2 位の選手がオーバーステアで膨らんだ隙をつき、インベタを走行したことで 2 位に浮上しました。そして次の周回のバックストレートエンドではトップ艇と並ぶことができたためチョイスコースを分かれ、合流で並びかけることができたことから Moto#2 と同様の方法でコーナーを外からまくっていくことが出来ました。そしてその後は 2 位の選手とのリードを広げていき、1 位でゴールできたことから総合優勝が決まりました。

Pro Ski 2-Stroke Stock

ストッククラスの Moto#1 はインコースのポールポジションからスタートでした。スタートはタイミング良く飛び出すことができたことからホールショットを獲得し、合流でも 1 位で 2 周目を迎えることが出来ました。それからは順位を落とさずに逃げ切り 1 位でゴールしました。

Moto#2 もインコースのポールポジションからスタートし、インコースのホールショットを獲得しました。その後は Moto#1 と同様のレース展開となり、1 位でゴールし総合優勝を果たしました。

レースを終えての感想

まずは 2017 年シーズンの開幕戦をダブル優勝で終えることができとても嬉しく思っています。特に Pro Force はアメリカからテストを行う時間も無くタイに届いたためセッティングがなかなか合わず、毎ヒートの度にセッティングを変えていったことで徐々に仕上がりが良くなっていき、1 位に浮上するまでにかかる時間が短くなっていきました。第 2 戦までにはさらにマシンのテストを行っていき、ホールショットを獲得できるほどに仕上げたいと思います。そして今シーズンもナショナルチャンピオンを獲得したいと思います。また、第 2 戦には、USA からプロウォータークラフトレーシング代表のクリス氏が多くのニューパーツを持参し僕のバックアップに来る事が決まりました。第 2 戦は万全の体制で望めると思います。また、タイにてワールドファイナルに向けたニューパーツのテストも

予定されています。昨年度よりも多くの面で体制が強化されています。その体制に恥じぬよう僕も万全の体制を常に保とうと思います。

次のレースは1週間後にフランス領のグアドループで行われる KARUJET です。初めて参戦する大会であるため不安だらけですが、新型のSX-Rでのクローズドレースや550kmのオフショアレースに参戦できることにとてもワクワクしています。

次戦でも優勝を目指して闘って参りますので、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い致します。



JETRIN Team

#141 Toshi "SAMURAI" Ohara